

令和4年度 第二回定期役員会資料

令和5年度事業計画

および

令和5年度収支予算

公益財団法人 国際青少年研修協会

令和5年度事業計画について

1. 運営方針

令和5年度の方針につきましては、新型コロナの収束を見据え、コロナ前の活動事業に戻す事を前提に「海外研修交流事業」の再開強化を第一目標に、昨年引き続き「国内事業」の安定的な実施、「インバウンド」の再開強化を掲げています。

令和4年度後半から海外研修交流事業も再開し、海外との人的交流により、徐々にではありますが、本来の活動状況に戻りつつあります。

本会は、国内外全ての事業を実施するにあたり、引き続きコロナも含めた様々な病気に対する感染防止対策を徹底してまいります。そして青少年が安心して有意義な交流活動が出来るよう準備を進めてまいります。また、コロナの影響により、途絶えてしまった海外の新たな交流先も探しながら、新しい事業の展開も進めてまいります。

広報活動につきましては、オンラインでの事業説明会という形式がほぼ定着し、いつでも必要に応じて開催できる事により、日本全国から多くの方が気軽に参加できる体制を構築していきます。事業収益については、海外研修交流事業を始め、国内では収益性の高い全国対象の事業を強化し安定的な協会運営が出来るよう努めてまいります。

そして参加する青少年が団体生活や共通体験を通じて、広い視野を獲得できる環境を用意し研修・教育の場として適切かつ安全に体験できる機会を継続的に提供していきます。

2. 令和5年度の重点課題

令和4年度は、国内事業（月例事業）においては、幅広いニーズに対応できるよう様々な内容の事業（食育体験、自然体験など）を実施しました。そして地元の豊島区からの後援を頂き、子どもスキップ（児童館）で手渡しでのパンフレット配布により多くの参加申込を頂き、設定事業を中止することなく安定的に実施する事が出来ました。

令和5年度におきましても引き続き、国内事業を中心に企画募集をしてまいります。

同時に海外研修交流事業を再開してまいります。

各実施事業で確実に収益を出せるように参加費設定を見直し、子どもゆめ基金への補助金申請止めて、自立した安定的な運営が図れるように努めます。

海外招致については、オーストラリア、サイパンの受け入れに向けた準備を進めていきます。また一昨年度から実施している外国人青年の日本の大学への留学を、大学と協力し今年度も実施します。

寄付活動については、研修協会の復活のための重点課題となります。他団体より本会の持つ事業が高価値であることを認めてもらい、より一層の躍進につながるものとなるよう営業活動を行ってまいります。

3. 令和5年度 青少年交流活動計画の概要

(1) 国内事業

全国対象事業

8月 青少年国際交流キャンプ（4泊5日）
実施地区：静岡県（静岡県立朝霧野外活動センター、富士山）
実施日：8月2日（水）～8月6日（日）
対象：小学3年生から中学3年生
募集人員：80名（日本人60名、外国人20名）
内容：富士登山、各国の遊び体験、野外炊飯、異文化交流他

8月 小笠原アドベンチャースクール（6泊7日）
実施地区：小笠原諸島（父島、南島）
実施日：8月18日（金）～8月24日（木）
対象：小学3年生から中学3年生
募集人員：25名
内容：シュノーケリング、海亀飼育体験、トレッキング
タコノ葉細工、星座観察等

12月 沖縄アドベンチャースクール（5泊6日）
実施地区：沖縄県 渡嘉敷島
実施日：12月25日（月）～12月30日（土）
対象：小学2年生から中学3年生
募集人員：20名
内容：平和学習、伝統文化体験、海遊びなど

3月 ちびっこ探検学校ヨロン島（6泊7日）
実施地区：鹿児島県（与論島）
実施日：2024年3月26日（火）～4月1日（月）
対象：小学2年生から6年生
募集人員：日本人100人、外国人100名
内容：国際交流、民宿体験、大筏作り、サトウキビ絞り
ハーレー船競争、海活動

関東地区対象

月例事業

食育体験活動（日帰り）

実施地区：千葉県長柄町・栃木県芳賀町
実施日：10月15日（日） 11月26日（日）
2月18日（日） 3月10日（日）
対象：小学2年生から中学2年生
募集人員：日本人各20人（各回）
内容：食育体験活動（サツマイモ・イチゴ）,加工体験 他

自然体験活動（1泊2日）

実施地区：千葉県南房総市、埼玉県秩父市

実施日： 5月13日（土）～ 5月14日（日）
5月27日（土）～ 5月28日（日）
9月 9日（土）～ 9月10日（日）
10月28日（土）～10月29日（日）

対象：小学2年生から小学6年生

募集人員：日本人15人（各回）

内容：野外活動、体験型教育プログラム 他

高尾日蔭沢ベースプロジェクト

実施地区：東京都八王子市

実施日： 4月29日（土）～ 4月30日（日）
6月19日（日）、11月 9日（日）
9月 9日（土）～ 9月10日（日）

対象：小学2年生から中学3年生

募集人員：日本人20人（各回）

内容：野外炊飯体験、ブッシュクラフト、トレッキング他

※広報方法については、豊島区の後援申請、ポスター掲示などを地域限定とし、さらにホームページやFacebook、Lineなどを利用した広報方法に変更します。また、事前説明会についてもオンラインでの説明会に置き換えて実施をしております。

（2）海外研修交流事業海外派遣交流事業（小学生～高校生）

夏休み	イギリス（16日間）	語学研修とホームステイ
	カナダ（16日間）	語学研修とホームステイ
	イギリスジュニア（9日間）	語学研修とドミトリーステイ
	ハワイ（16日間）	語学研修とホームステイ
	オーストラリア（16日間）	学校体験とホームステイ
	オーストラリア（12日間）	学校訪問とホームステイ
	サイパン（8日間）	ホームステイ
年末休	サイパン（10日間）	ホームステイ
	オーストラリア（10日間）	ホームステイと異世代交流
春休み	イギリス（11日間）	語学研修とホームステイ
	カナダ（11日間）	語学研修とホームステイ
	ネパール（10日間）	震災復興支援とトレッキング
	カンボジア（10日間）	平和教育学習と農村ホームステイ
	オーストラリア（11日間）	学校交流とホームステイ

冬季青年海外派遣事業（大学生対象）

カンボジア（10日間） 小学校交流ワークショップ、農村訪問交流

プログラム内容（フィリピンのコースを除き、ホームステイは共通）

（1）語学研修と文化交流（イギリス、カナダ）

イギリス、カナダのコースはホームステイをしながら語学学校への通学と学んだ英語を実際に試す場として、日本文化を紹介する会を開催するとともに、ボランティア体験・老人ホームでの交流会等（カナダ）を通して異なる文化も体験します。

（2）学校体験交流（オーストラリア）

短期間ではあるが現地の学校に通学し、同世代の多くの外国青少年と交流を通して異文化体験をします。又、学校において日本を紹介する会を開催し、相互理解活動を主催します。

（3）生活文化体験（オーストラリア、カンボジア、サイパン）

オーストラリアではホームステイをしながら地域の活動に参加したり、学校を訪問して日本の文化を紹介しながら交流をします。小学生は小学校を、中高生は中高一貫校を訪問します。又、協力関係機関であるバースト市の市長へも表敬訪問もおこないます。

カンボジアではポルポト時代の負の遺産、不発弾・地雷処理政府機関からのレクチャー、アンコール遺跡群の見学を行うとともに、農村では高床式民家でのホームステイ（4日間）、小学校での交流会（2日間 歌、折り紙、お絵かき、スポーツ）を開催します。

サイパンでは受け入れ機関であるサイパン市への表敬訪問（市長）、受け入れ家族達との交流会（双方とも歌、踊り等を披露）を通して異なる文化、生活を体験します。

（4）野外活動体験（ネパール）

ネパールではヒマラヤの山岳地帯をシェルパに協力を頂き、トレッキングの体験をします。また、一昨年、ネパール地震にて被害を受けた地区の学校を訪問し、復興支援の現状を見学し、生徒との交流をします。又、物の大切さ、自然の厳しさを直接体験しながら自分の周りあるものの大切さとありがたさを学びます。

（5）冬季青年海外派遣：カンボジアホームステイ&小学校交流ワークショップ、ボランティア活動

この企画は獨協大学、慶応大学、同志社大学のボランティアサークルの海外ワークショップを本会が協力する形で実施します。

2012年から始まり今年度で12回目を迎える予定です。

参加人数は2019年より30名定員としました。

事前説明会の開催（夏休み海外研修交流事業、春休み海外研修交流事業対象）

オンライン形式：オンラインにて日本全国から参加できるようになりました。

(3) 招致事業

(1) フェアヒルズハイスクール日本研修（夏休み海外研修交流事業との相互事業）

受け入れ対象国	オーストラリア(メルボルン)
主なプログラム	学校体験、ホームステイ体験、都内見学、文化体験
受入れ時期	9月中旬～下旬 14～16日間
学校体験	千葉県茂原市の公・私立高校、都内の私立高校
ホームステイ	千葉県茂原市とその近郊 7泊8日
来日予定人数	4～8名（引率者1名）

(2) サイパン青少年日本研修

受け入れ対象国	サイパン
主なプログラム	ホームステイ体験、都内見学、日本文化体験
受入れ時期	11月初旬～11月中旬 7日間
ホームステイ	都内またはその近郊 2泊3日
来日予定人数	10～15名（引率者2名）

(3) 中国人留学生招致（大学）

受け入れ対象大学	日本経済大学、第一工業大学
受入れ時期	9月入学を目標に実施（別科、本学部）

(4) 青年ボランティア養成・国際交流協力者（IES）

青年ボランティアリーダー養成は、実習を『青少年・国際交流キャンプ』『ちびっこ探検学校ヨロン島』として、前期（6月～9月）、後期（12月～3月）の2回募集します。対象は18歳以上として、東京で養成講座を開催します。講座では、安全管理や救急法、レクリエーション、集団指導法、健康管理などの項目を数回の講座に分けて学びます。国際交流協力者は、当面、実施を中止いたします。

4. 令和5年度 収支予算について

編成の基本

予算編成にあたっては令和3年度、令和4年度実績並びに予想を基に令和5年度の収支予算案を編成しました。

課題

財団運営に欠かせない海外との交流が新型コロナの影響で令和2年からストップし、財団運営が大きく傾き、財政の安定化および健全化図るため国内事業の増加、広報手段の見直し等で令和3年度は多くの参加申し込みを頂きました。しかしながら収益性を考えると十分ではなく、海外派遣事業、海外からの招致事業の再開に向けた企画実施を本年度中にします。また、引き続き事務局内のコスト削減、企業からの寄付金のお願いなど、さらに努力していきます。